

・夜のパートの企画は「公開個別フォロー」でした。

チームのメンバーは年始に個別フォローオブザーバー企画を実施したメンバーでもあるので、個別フォローの濃度の話に同席してもらうことも、しっくりイメージが湧くメンバーでした。

ただ場に同席するだけではなく、陽子さんが個別フォローで話す問いと同程度の気付きを与える試みをしなければというプレッシャーはありましたが、事前の個別フォローで問いを深めて臨むことが出来ました。

私からは陽子さんの個別フォローでしか話したことのなかった近未来についての活動について話しました。

仕事に近いテーマだったので、質問を頂いた通り、「裸になって話す」感を感じづらいテーマだったかもしれません。

ただ、自分の人生の方向性を少しプライベート優先モードにするための取り組みを話すというのは、目標設定で走っている姿を見せている中では葛藤があったことでした。

また、自分が10プロで見せてきた、「自分で決めて進む」だけではない、他者の決定で左右されてしまうという側面のあることを決断しようとするのは勇気の要ることでした。

そんな中でも自分の軸をしっかり持って進みたいという気持ちを強く持ちたいと思って出したテーマでした。

メンバーからの持ち寄りテーマであった「プライベートも仕事も伸ばしていきたい時の周りとの付き合い方」については、

私も会社の中では付いていけない人扱いをされることがままあるので、通じる部分もあったと思います。

子供が親の姿をよく見ている話については、自分の子供も上手くいかないことがあった時にぶつぶつ分析し始める癖があることに気付いたので(そんなこと教えていない)、子供の前でこそ、なりたい自分像を追及して動くというのは大事と再認識しました。

もう一人のメンバーのテーマについては感情が乗ってしまい(パートナーに対して怒りの感情が出てしまった)、延長戦も含めて盛り上がってしまいました。

一方で、コーチング練習会や10プロで養った物事の見方がなければ世間的に無難に受け止められるセリフを受け流していたかもしれないと思うとゾッとします。

メンバーの人生が良いものになってほしいと真剣に望むからこそ出てきた言葉であり向き合い方だったのだと思いました。

(A.S 40代女性 北海道)